

## 展示計画

### 2. 展示の内容と構成

区分	展示項目	概要
A.インフォメーション用展示 「命のゆりかご」	1.施設案内	施設案内図・利用案内をはじめとし、施設の自然エネルギー利用状況などについて。
	2.濤沸湖の重要性	濤沸湖の自然公園法による規制や登録範囲について。 オオハクチョウを象徴として、シベリア・オホーツク地域とのつながりと、中継地としての重要性や中継地として利用される恵まれた環境について。
	3.ラムサール条約登録湿地	ラムサール条約の概要と濤沸湖の位置づけ、選定基準、登録範囲などについて。
	4.ガイドマップ	ホワイトボードを利用した白地図に濤沸湖の周辺情報や観察ポイントを記載。 野鳥の目撃情報などリアルタイムの情報掲載も可能。
	5.情報コーナー	関連施設や各種団体の案内、イベント情報などが掲載可能な掲示スペース。
B.解説用展示 「水と生命の出会いとところ」	1.濤沸湖の自然環境	濤沸湖の成り立ちや、多様な環境について。 海や流入河川、周囲の畑や森など、湖単体としてではなく周辺環境との繋がりに視点を置いて。 濤沸湖の四季の移り変わりを紹介。
	2.濤沸湖と人々	アイヌの人々と濤沸湖のかかわりから現代まで、人々と濤沸湖のかかわりを時間軸で紹介。 魚場としての活用など、濤沸湖におけるワイズユースや、濤沸湖を守る市民の活動について。 また、人々と濤沸湖とのかかわりをヒアリングによって聞き出した地域の人々の生の声として紹介。
	3.濤沸湖と植物	濤沸湖の多様な環境と、それぞれの環境の中で生育する植物について。
	4.濤沸湖と動物たち	鳥類の紹介を中心としながら、濤沸湖の環境を生かしながら生息するその他の動物や昆虫、魚類、貝類などについて。
C.レクチャー用展示 「自然に学ぶ」	1.自然観察を楽しもう	野鳥観察のルールとマナーや、装備品と使い方の説明、観察のポイントなどについて。
	2.情報ライブラリー	調査・報告書や、一般書籍の閲覧が可能なミニライブラリー。
	3.湿原ラウンジ	ゆっくりとくつろぎながら本を読んだり、子供たちがハンズオンアイテムで遊びながら学べるコーナー。
D.活動報告用展示 「人々のとりくみ」	1.活動と取組	調査・研究と傷病鳥獣保護などの保護活動について、合わせて鳥の感染症と感染症の正しい知識について。 また、専門家から地域住民、子供たちまで、さまざまな研究や調査の発表の場として活用可能な展示スペースを確保。